

令和8年台風第7号・第8号に関する説明

**この資料は、6月25日9時現在に入手可能な予測資料を用いて作成した説明資料です。
最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。**



気象庁 京都地方気象台

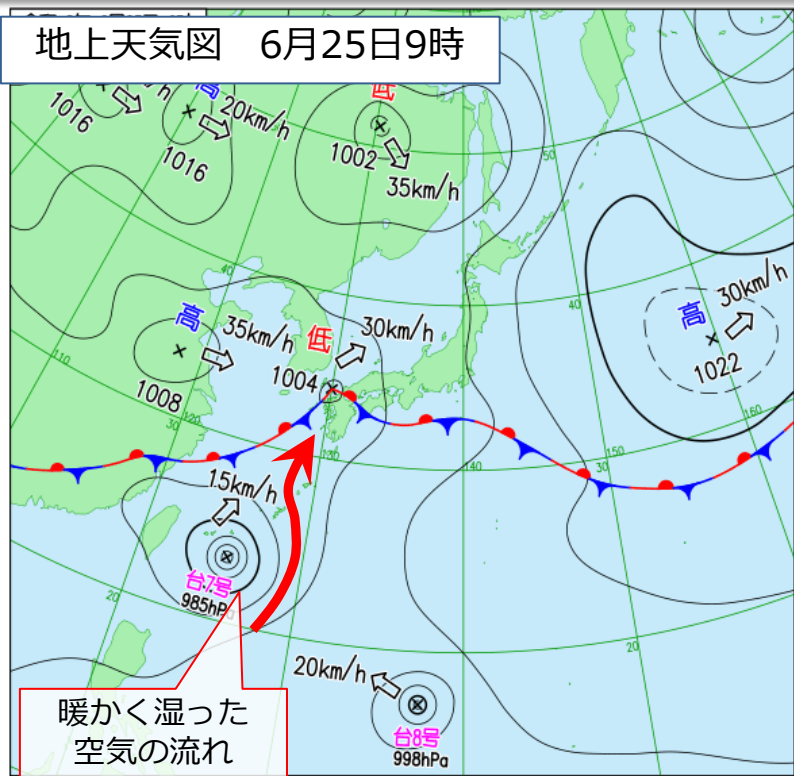
台風第7号、第8号の進路と影響のポイント

- 台風第7号は、25日9時現在、宮古島の南にあって北北東に進んでいる。今後、進路を東よりに変えながら速度を上げ、太平洋沿岸を北東に進む見込み。**京都府には27日朝から夕方に接近する見込み。**
- 台風は近畿地方に接近する27日朝までには暴風域はなくなる予想。
- 台風が予報円の中心を通過すれば、27日は激しい雨を見込む。大雨は注意報級の見込み。
- 台風が予報円の北よりを通過する場合は、台風本体の発達した雨雲がかかり、警報級の大雨となる可能性が高くなる。一方、南よりを通過する場合は、警報級の大雨となる可能性は低くなる。
- 台風が接近する前から暖かく湿った空気が流れ込むため、前線による降水が強まる可能性がある。
- 台風第8号は、27日朝までには日本の南で熱帯低気圧に変わる見込み。熱帯低気圧本体の雨雲は東日本へ進む見込みだが動向に留意。
- 台風第7号や台風第8号の今後の進路予報に十分留意。

◆ 常に最新の気象情報をご利用ください。

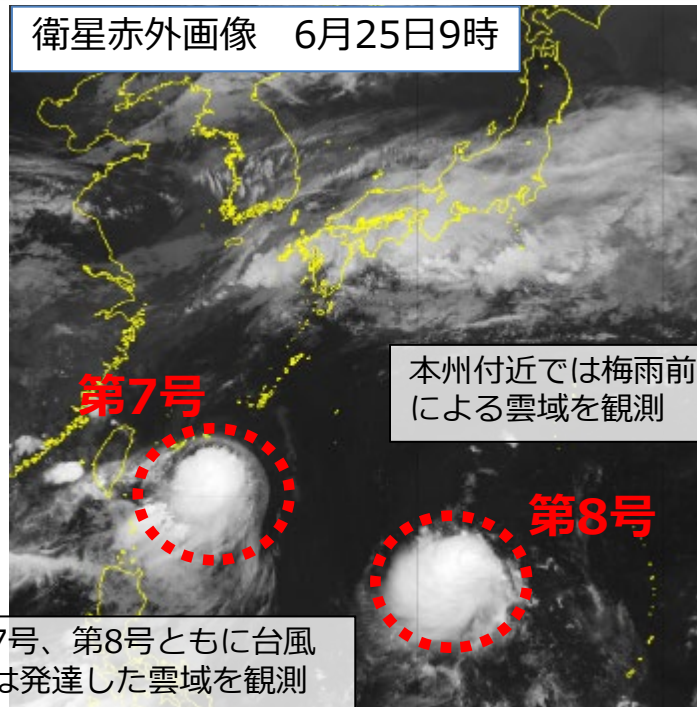
25日9時の気圧配置と台風第7号、第8号周辺の雲の実況

地上天気図 6月25日9時



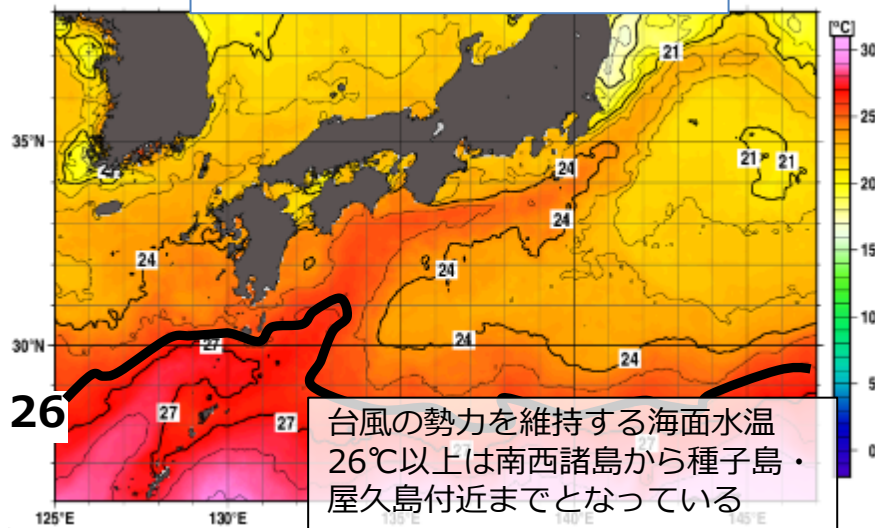
暖かく湿った
空気の流れ

衛星赤外画像 6月25日9時



台風第7号、第8号ともに台風
周辺では発達した雲域を観測

海面水温実況図 6月24日



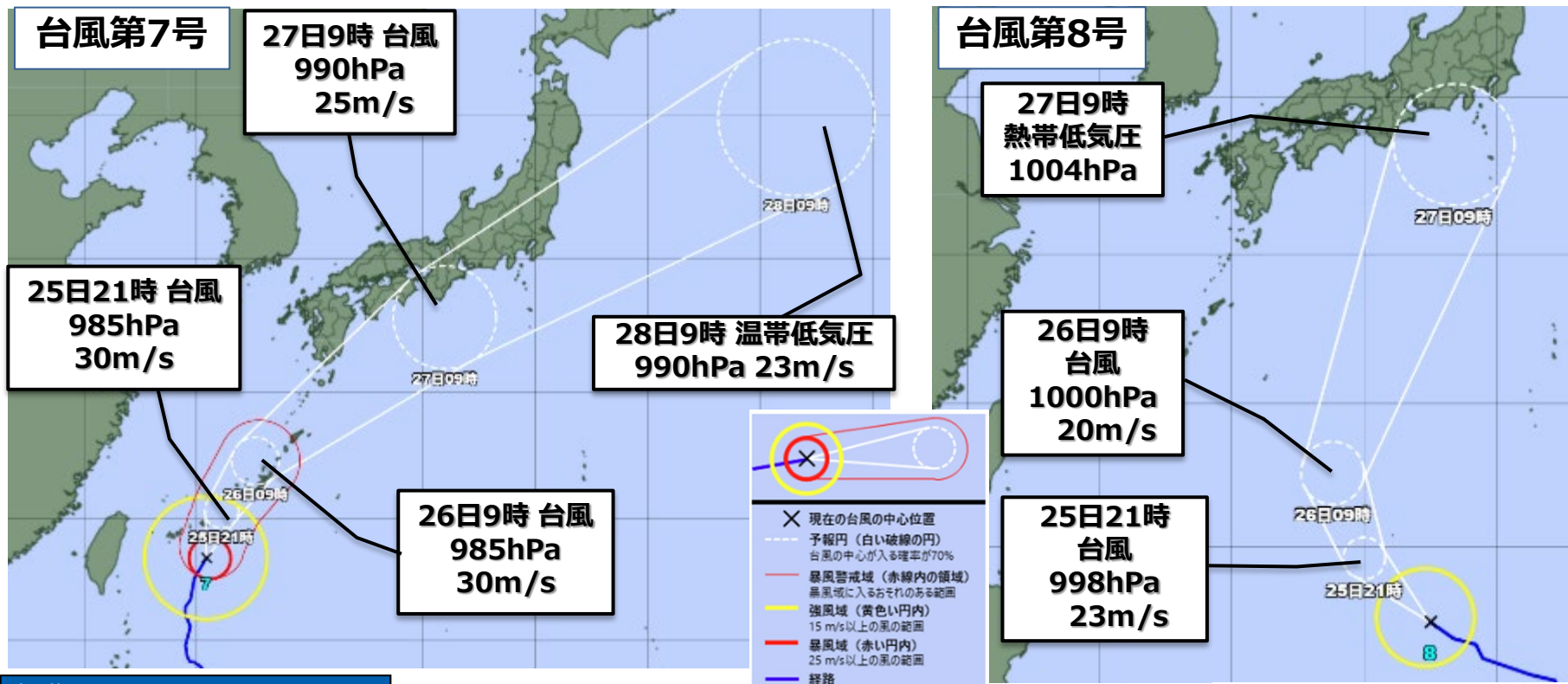
台風の勢力を維持する海面水温
26℃以上は南西諸島から種子島・
屋久島付近までとなっている

- 25日9時現在、台風第7号は宮古島の南にあって1時間におよそ15キロの速さで北北東へ進んでいる。

台風第8号はフィリピンの東海上にあって1時間におよそ20キロの速さで西北西へ進んでいる。台風周辺で発達した雲域を観測している。

- 台風の勢力を維持できる海面水温が26℃以上の海域は南西諸島から種子島・屋久島付近までとなっている。

25日9時現在の台風第7号、第8号の進路予報

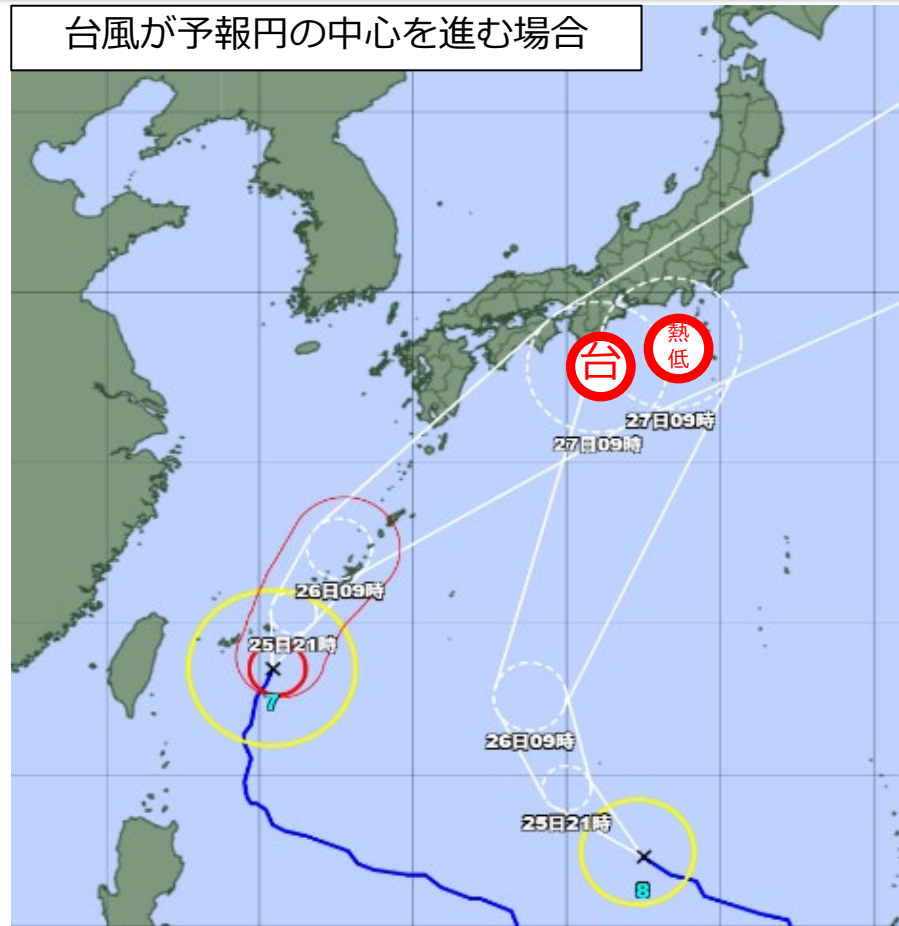


台風第7号(メーカラー)	
2026年06月25日09時50分発表	
25日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	宮古島の南約160km
中心位置	北緯23度25分 (23.4度) 東経125度25分 (125.4度)
進行方向、速さ	北北東 15 km/h (9 kt)
中心気圧	985 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (55 kt)
最大瞬間風速	40 m/s (80 kt)
25m/s以上の暴風域	東側 110 km (60 NM) 西側 75 km (40 NM)
15m/s以上の強風域	全域 280 km (150 NM)

- ❑ 台風第7号は、次第に東よりに向きを変え、速度を速めながら太平洋沿岸を北東進。
- ❑ 京都府には、27日朝から夕方に接近する見込み。
- ❑ 台風第8号は、27日朝までには日本の南で熱帯低気圧になる見込みだが、予報円の西側を通れば熱帯低気圧の暖かく湿った空気は近畿地方に流入する予想で、熱帯低気圧の動向にも留意。

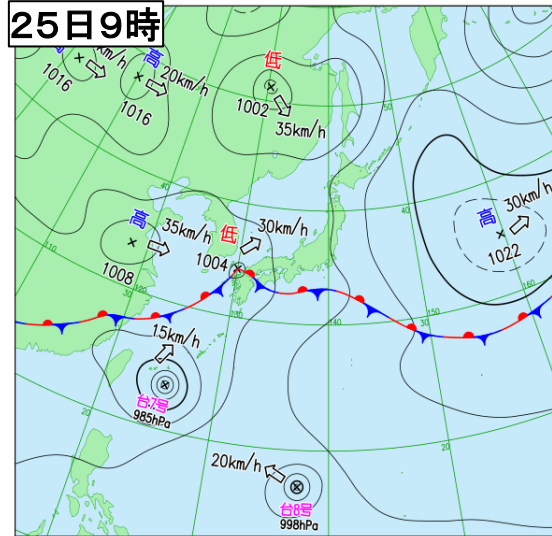
台風第8号(ヒーゴス)	
2026年06月25日10時05分発表	
25日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	フィリピンの東
中心位置	北緯17度20分 (17.3度) 東経137度30分 (137.5度)
進行方向、速さ	西北西 20 km/h (12 kt)
中心気圧	998 hPa
中心付近の最大風速	23 m/s (45 kt)
最大瞬間風速	35 m/s (65 kt)
15m/s以上の強風域	北西側 220 km (120 NM) 南東側 165 km (90 NM)

台風第7号・第8号の京都府への影響のポイント



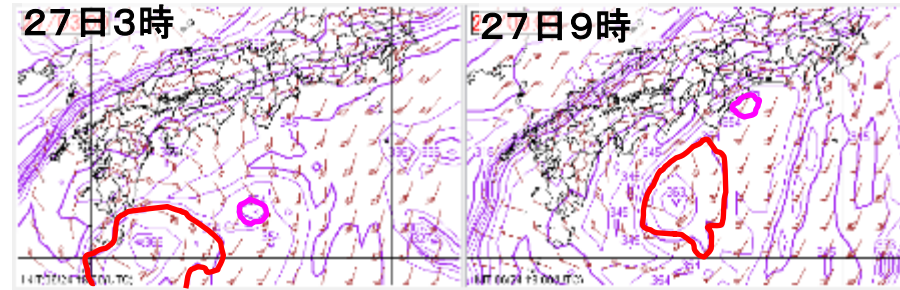
- 27日朝には台風第7号と台風第8号から変わった熱帯低気圧がかなり接近する予想で、熱帯低気圧が複雑な動きをする可能性がある。
- 台風の北側に予想される前線の動向や台風本体の暖かく湿った空気が京都府へ流入するかがポイント。
- 台風や熱帯低気圧は本州南岸の偏西風によって東よりに進み速度を上げる予想だが、熱帯低気圧が複雑な動きをして京都府に熱帯由来の暖かく湿った空気が流れ込めば、前線の活動が活発になって予想より雨量が多くなり、警報級の大雨となる可能性が高くなる。

地上天気図や予想図

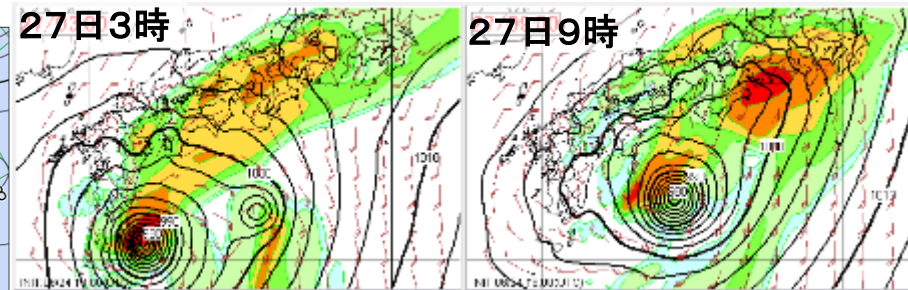


南部では26日にかけて前線の影響によって、27日は台風本体の影響も加わり、より降水が強まるおそれ。南部を中心に降水量が多くなるおそれ。

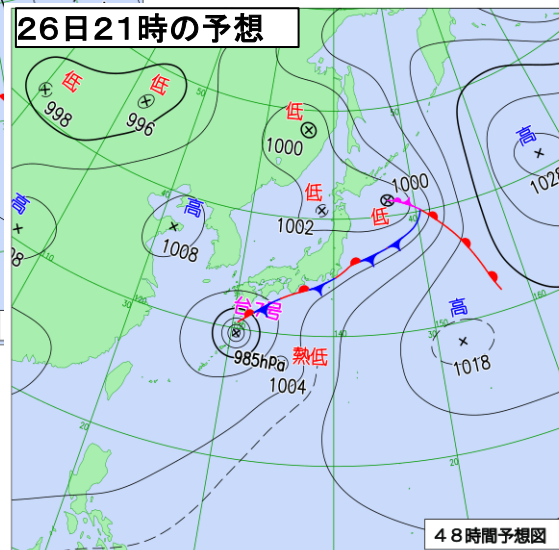
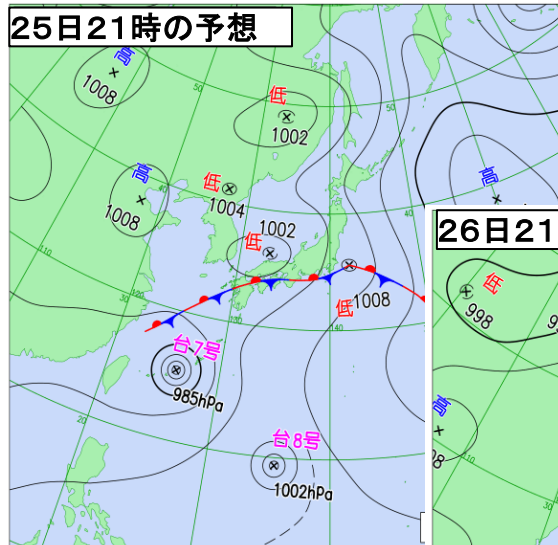
暖かく湿った空気の流入



3時間雨量予想

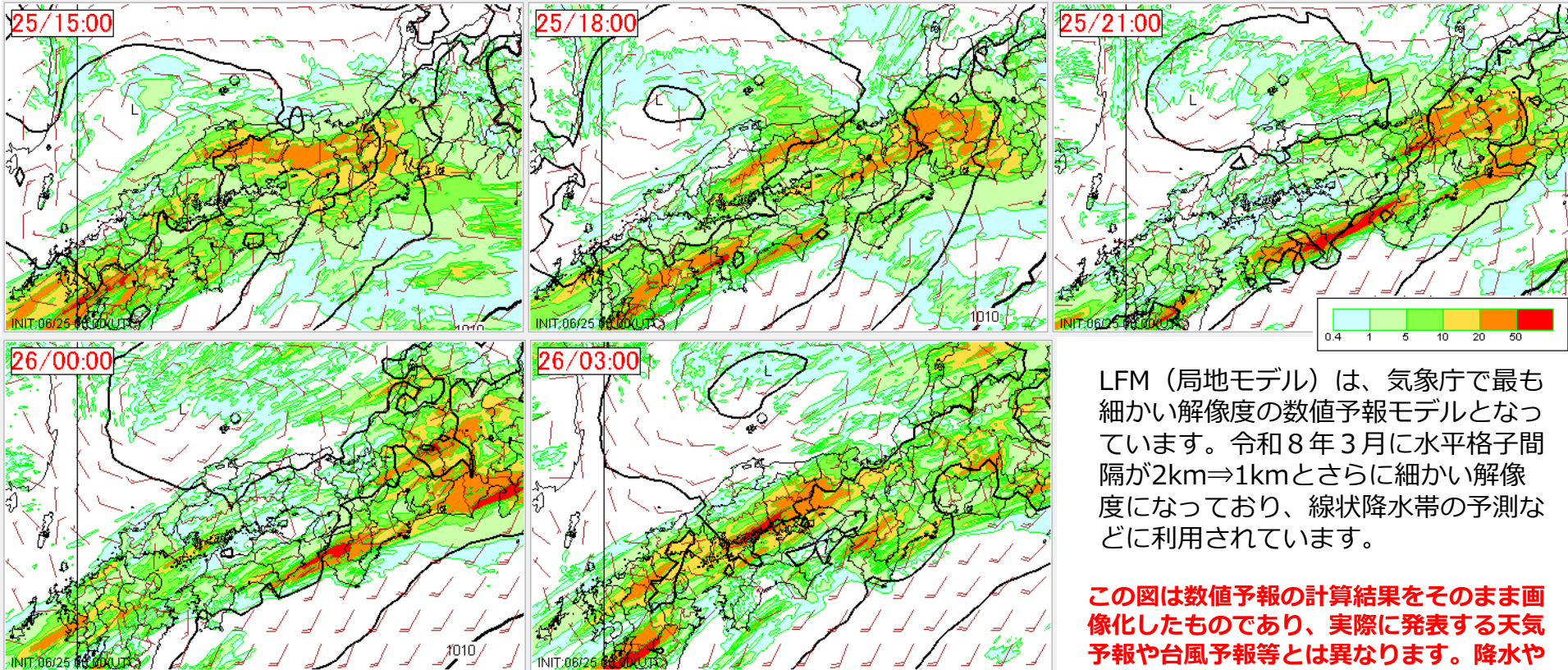


この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水や風の面的分布をイメージとして、見てください。



数値予報モデル（局地モデル）の予想図

<25日午後の雨の予想について>



LFM（局地モデル）は、気象庁で最も細かい解像度の数値予報モデルとなっています。令和8年3月に水平格子間隔が2km⇒1kmとさらに細かい解像度になっており、線状降水帯の予測などに利用されています。

この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水や風の面的分布をイメージとして、ご覧ください。

図 数値予報モデルによる25日15時、18時、21時、26日0時、3時の前3時間降水量の分布
(25日9時初期値のLFMの予報)

- 26日午前中にかけて前線は近畿地方を北上し、前線が京都府の近傍となる25日夜のはじめ頃から26日明け方にかけて、南部を中心に前線付近の暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となる見込み。
- 26日も前線は近畿中部付近で停滞する見込みで長雨となり降水量が増加する見込み。
- 前線の近傍となる26日明け方にかけて、南部を中心に短時間強雨となり、レベル2大雨注意報やレベル2土砂災害注意報を発表する予定。その後も27日にかけて前線や台風の影響でレベル3大雨警報やレベル4土砂災害危険警報を発表する可能性がある。

台風第7号・第8号による京都府への影響の見通し

		25日			26日								27日				
		15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近														接近	接近		
京都府北部	大雨	10	20	20	20	20	10	10	10	10	10	10	20	30	20		
	土砂																
	雷		竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻					
	強風	陸上	4 ↻	3 ↑	3 ↑	4 ↑	4 ↑	6 ↑	6 ↻	5 ↻	5 ↻	4 ↻	4 ↻		12 ↻	12 ↓	
		海上	10 ↻	8 ↑	8 ↑	8 ↻	8 ↻	10 ↻	10 ↻	8 ↻	8 ↻	8 ↻	8 ↻	10 ↻	15 ↻	15 ↓	10 ↓
	波浪 高潮 (メートル)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5
早期注意情報：北部（大雨）																	
早期注意情報：北部（土砂）																	
京都府南部	大雨	30	40	40	40	40	30	30	20	20	20	20	30	30	20		
	土砂																
	雷	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻					
	強風	4 ↻	3 ↑	3 ↻	3 ↻	3 ↻	3 ↻	4 ↻	4 ↻	4 ↻	3 ↻	3 ↓	↻	12 ↻	12 ↓	↓	
早期注意情報：南部（大雨）		中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	
早期注意情報：南部（土砂）													中	中	中	中	

警報級 注意報級

注意報、警報の発表のタイミングは、注意報級、警報級の現象となる3～6時間前となる。

<24時間降水量（25日18時～26日18時）>

北部：60ミリ 南部：120ミリ

<24時間降水量（26日18時～27日18時）>

北部：80ミリ 南部：100ミリ

早期注意情報 25日17時発表予定

京都府南部	25日	26日				27日		28日	29日	30日
	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府北部	25日	26日				27日		28日	29日	30日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 雨のピークは、26日昼前にかけてと27日午前中。南部を中心に1時間に30～40ミリの激しい雨が降るおそれあり。北部でも台風接近時には激しい雨の降るおそれがある。
- 総雨量は、南部の多い所で200ミリ程度、北部の多い所で150ミリ程度。

まとめ

- 台風第7号は、京都府には27日朝から夕方に接近する見込み。
- 雨
 - 台風が予報円の中心を通る場合は、27日にかけて南部を中心に断続的に激しい雨を予想するが注意報級の見込み。
 - 台風が予報円の北よりを通過する場合は、南部を中心に警報級の大雨となる可能性が高くなる。一方、南よりを通過する場合は、警報級の大雨となる可能性が低くなる。
 - 台風の北側にある梅雨前線によって、台風接近前の降水が予想より強まれば警報級の大雨となる可能性がある。
 - 台風第8号から変わる予想の熱帯低気圧も27日にかけて日本の南海上を北上する見込みで動向に留意。
- 風、波、高潮
 - 台風が京都府に接近する際には暴風域はなくなる予想で、「風、波、高潮」は注意報級かそれ以下の見込み。
- 25日17時頃に京都府気象解説情報（台風第7号）を発表予定。
- 市町村の避難情報などに留意。常に最新の情報を確認してください。

防災事項

- 低い土地の浸水、河川の増水、土砂災害に十分注意。
- 強風、落雷、突風に注意。

參考資料

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 早期注意情報（警報級の可能性） https://www.jma.go.jp/bosai/probability/#area_type=offices&area_code=260000&lang=ja
- 時系列情報（明日までの警報等の見直し）
https://www.jma.go.jp/bosai/warning_timeline/#area_type=offices&area_code=260000&efilter=all&filter=all
- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=260000
- キキクル（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっているかを地図上で表示）
 - 土砂キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
 - 大雨キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:heavyrain/>
 - 浸水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
 - 洪水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 気象防災速報・気象解説情報等（警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補足）
https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=260000
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見直し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=260000
- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

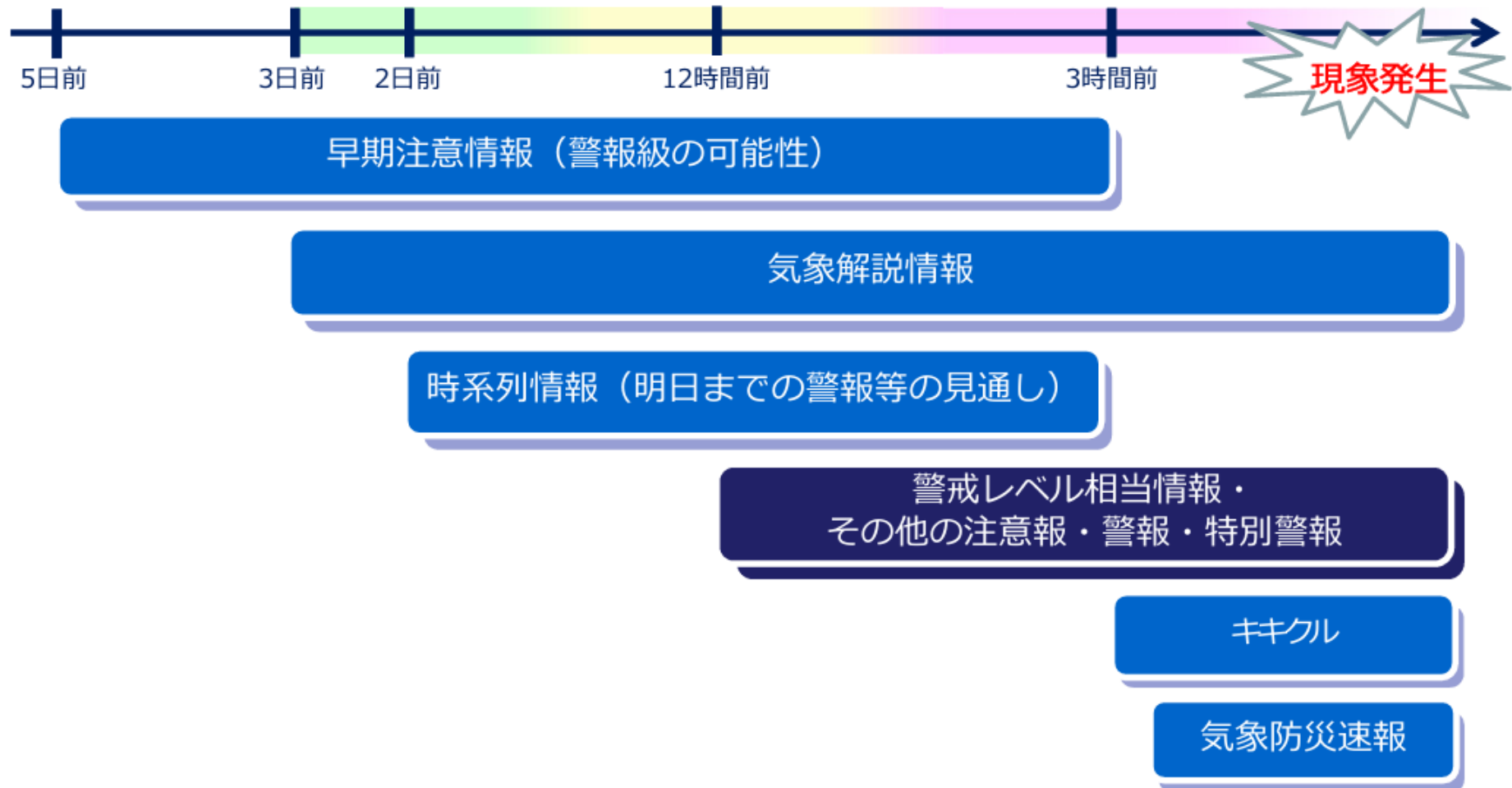


@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見直し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。

- 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
- キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません。**
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

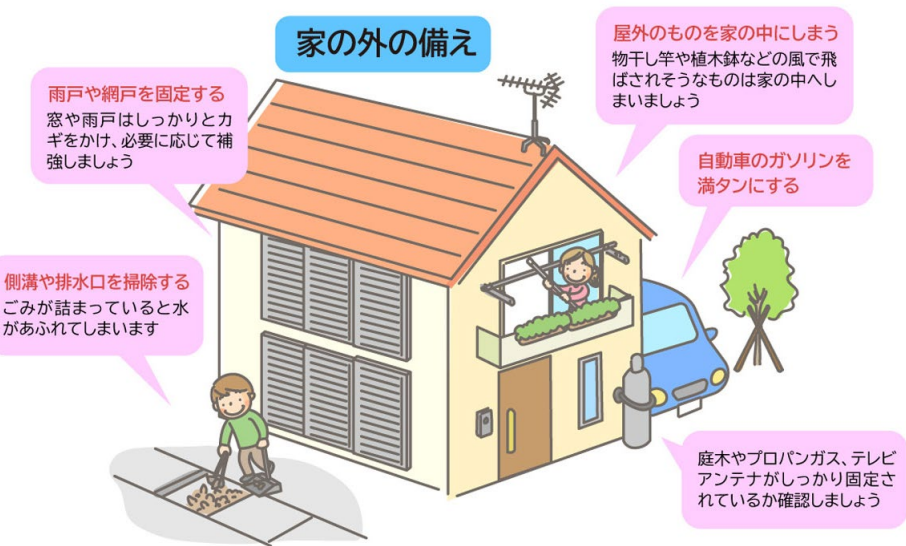
警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 		外装材が広範囲にわたって飛散する。 	50
40~ 約140km/h~		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60

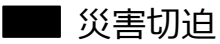
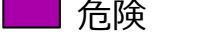

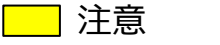
※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

- 新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を提供しています。
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分区単位(+山地等の分割地域)で提供する予測情報です。
 - 警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする全要素*について、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを、毎日4回（05時、11時、17時、23時）提供
 - *対象要素：
 - 大雨、土砂災害、風、波、高潮、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着氷、着雪、なだれ、低温、霜（下線部の要素は日毎の見通しを提示）
 - 気象庁ホームページでは常時表示、定期的に更新（上記の4回）
 - 定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて臨時に修正情報を発表（気象庁ホームページの時系列情報も更新）

時系列情報のイメージ

〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）														
2026年XX月XX日11時00分発表														
〇〇市	地域	28日										30日	備考・関連する現象	
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大雨量(mm)					10	30	50	50	30	20	10			
24時間最大雨量(mm)		200												
大雨														
土砂災害														
暴風(m/s)	陸上	5	10	15	25	25	25	25	25	25	25	15	5	
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	30	20	10	
6時間最大降雪量(cm)														
24時間最大降雪量(cm)		200												
大雪														
波浪(m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	8	5	2	
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5	

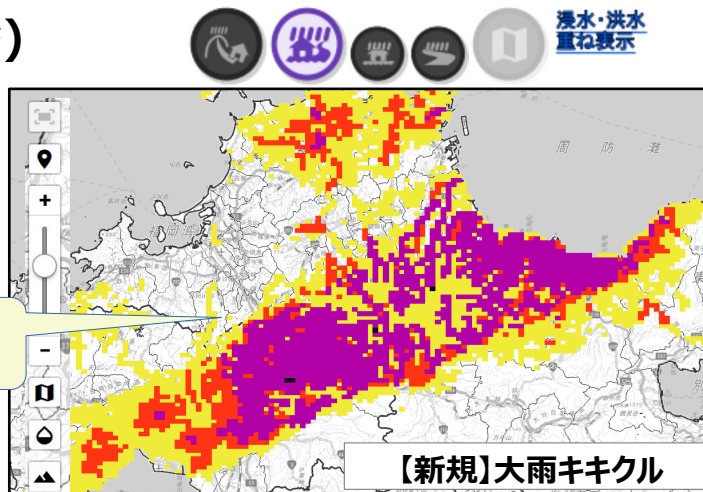
	災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
	危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯(土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
	警戒	警報基準を超えると予想される時間帯(土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
	注意	注意報基準を超えると予想される時間帯(高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

「高潮」において、潮位（高潮予報海岸では水位も）の量的な予想が記載される

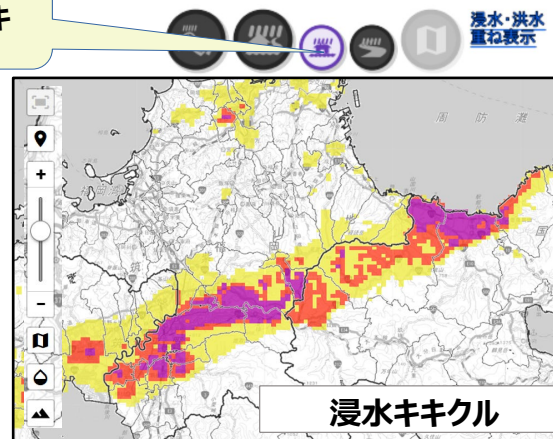
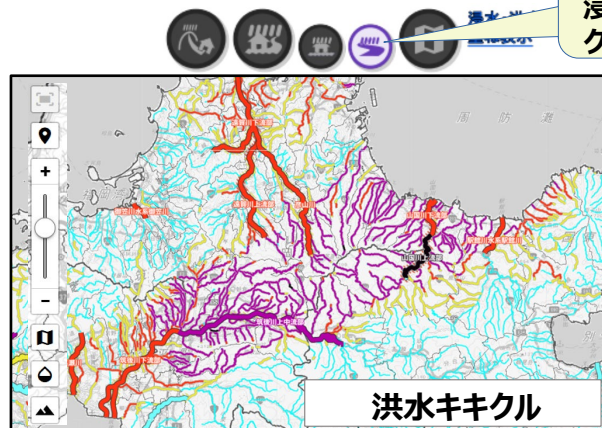
- 大雨に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて**大雨キキクル**として表示しています。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの**危険度の確認**が可能です。

大雨キキクル（イメージ）

以前の浸水と洪水メッシュの危険度を重ね合せた危険度



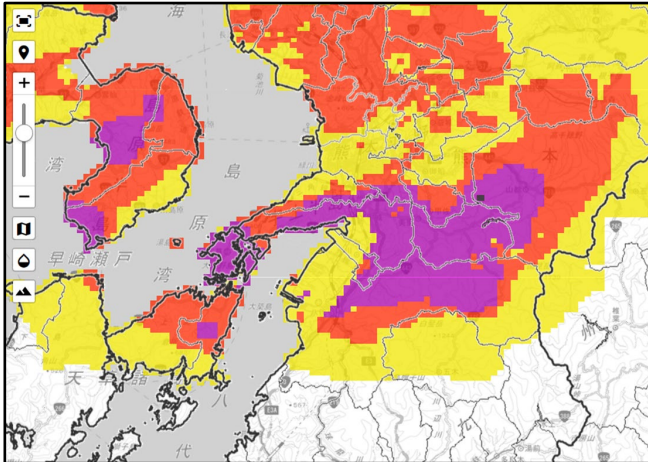
ボタンにより大雨キキクル、浸水キキクル、洪水キキクルを切替え表示



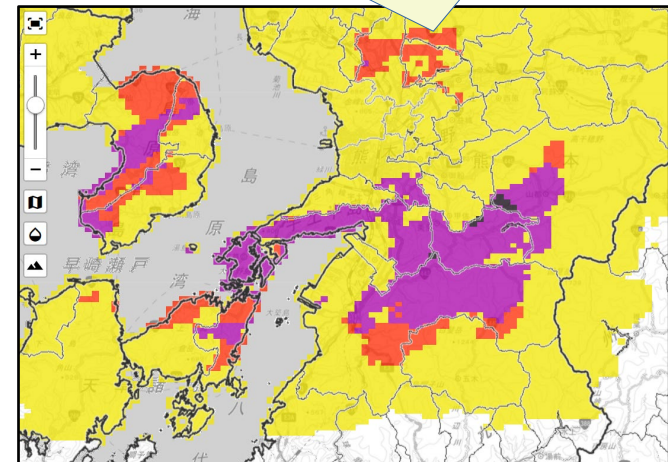
- 土砂災害に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 判定基準の変更に伴い、以前に比べて**警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる**傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

土砂キキクルの特性変化（イメージ）

以前



現行



以前に比べて赤が絞り込まれ、黄から紫になることが多くなる傾向

危険度の判定方法の変更

■ 災害切迫【警戒レベル5相当】

実況でレベル5土砂災害特別警報基準到達（変更なし）

■ 警戒【警戒レベル3相当】

<以前> 2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達

<現行> **3時間先にレベル4土砂災害危険警報基準到達**

■ 危険【警戒レベル4相当】

2時間先までにレベル4土砂災害危険警報基準到達（変更なし）

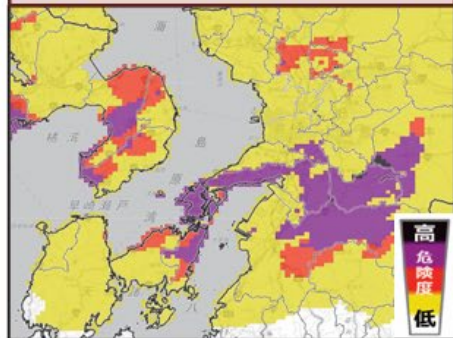
■ 注意【警戒レベル2相当】

<以前> 2時間先までに大雨注意報基準到達

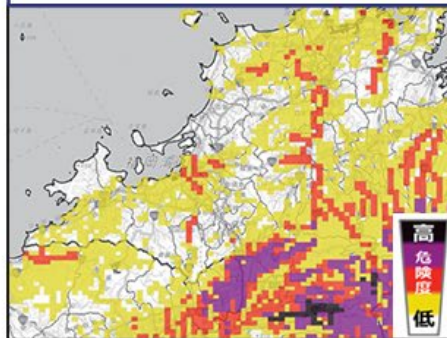
<現行> **6時間先までにレベル2土砂災害注意報基準到達**

「キキクル」を活用して早めの避難を

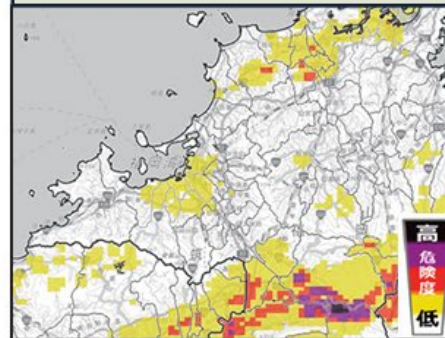
土砂キキクル



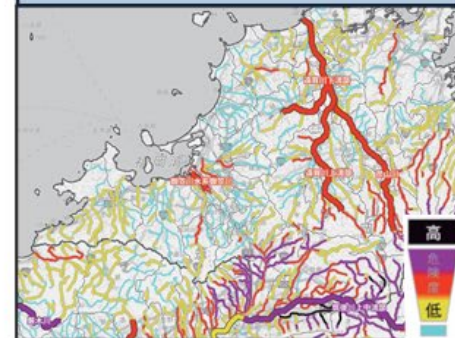
大雨キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



土砂災害



浸水害



洪水災害



**「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前に**いつも出現**するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

文章情報

半日前予測

半日程度前からの呼びかけ

令和4年	地方単位で予測
------	---------

↓

令和6年	府県単位 で 発生の日程度前に予測
------	-----------------------------

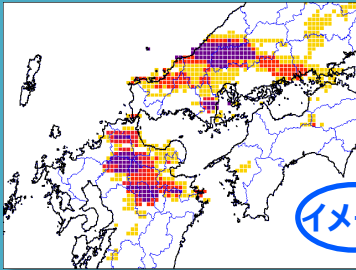
〇〇県では、〇〇から〇〇にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。

図情報

計画

令和11年

線状降水帯発生による大雨の可能性が高い市町村を把握できる格子形式の分布図を表示※1



イメージ

直前予測

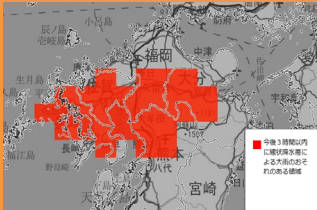
確度の高い直前の予測

令和8年	〇〇県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯となる 2~3時間前 を目標に予測
------	---

〇〇県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。

線状降水帯予測マップ

令和8年	線状降水帯となり、災害をもたらす大雨のおそれがある大まかな領域を 2~3時間前 を目標に図情報で表示
------	--




発生情報

令和3年	〇〇県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯の発生をお知らせ + 追加
令和5年	最大 30分 程度前倒し

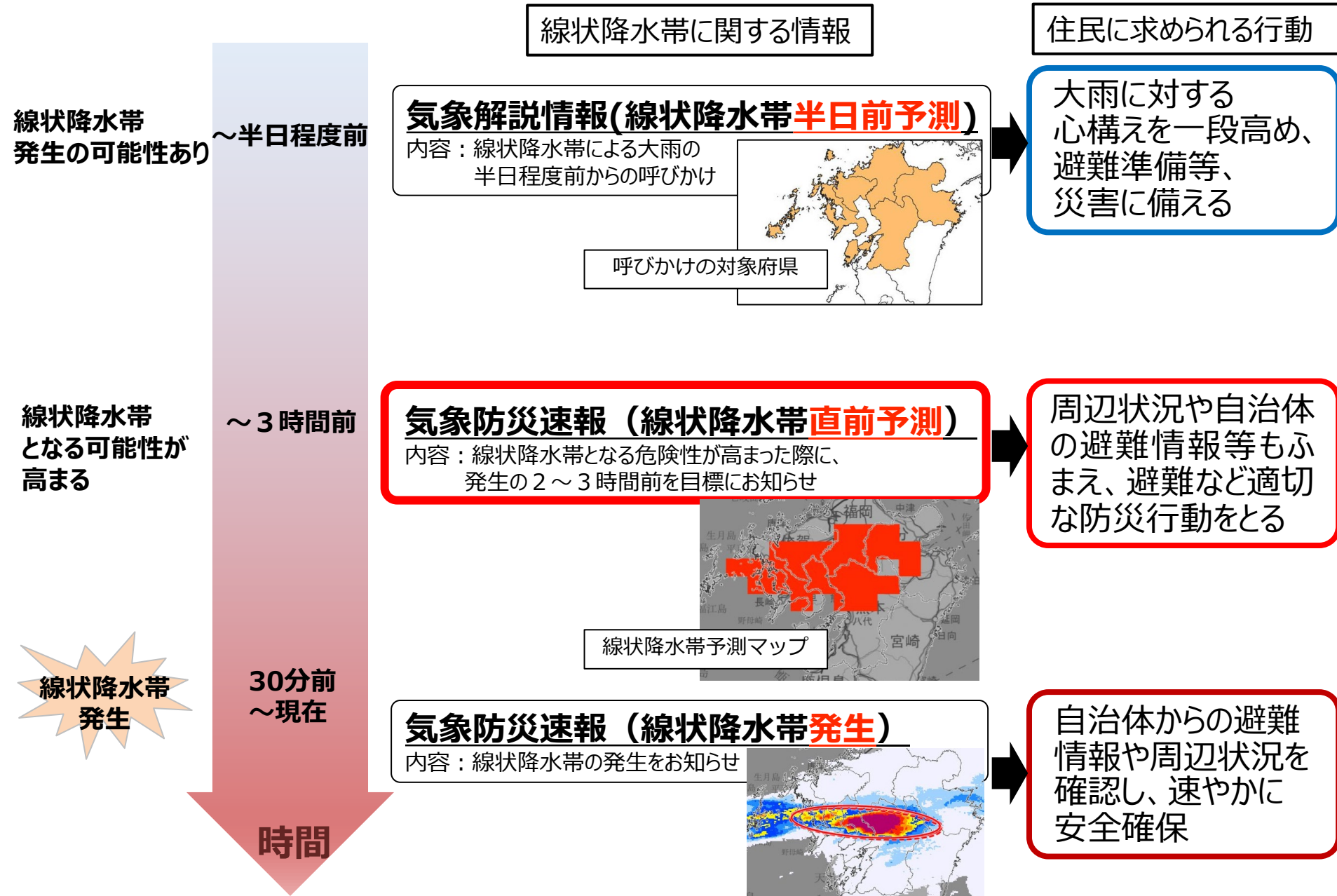
〇〇県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生危険度が急激に高まっています。

令和3年	線状降水帯の雨域を楕円で表示 最大30分程度前倒して解析した結果も楕円で表示 (令和5年~)
------	---



「雨雲の動き」・「今後の雨」に楕円を表示

※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により更なる予測精度向上を目指す。



線状降水帯に関する情報

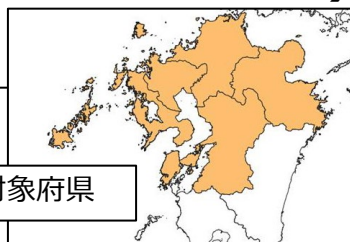
住民に求められる行動

線状降水帯
発生の可能性あり

～半日程度前

気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

内容：線状降水帯による大雨の
半日程度前からの呼びかけ



呼びかけの対象府県

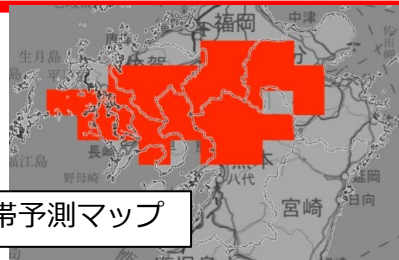
大雨に対する
心構えを一段高め、
避難準備等、
災害に備える

線状降水帯
となる可能性が
高まる

～3時間前

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

内容：線状降水帯となる危険性が高まった際に、
発生の2～3時間前を目標にお知らせ



線状降水帯予測マップ

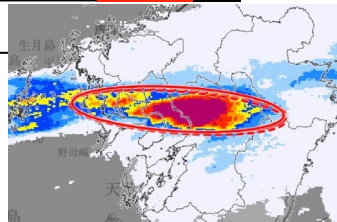
周辺状況や自治体の
避難情報等もふ
まえ、避難など適切
な防災行動をとる

線状降水帯
発生

30分前
～現在

気象防災速報(線状降水帯発生)

内容：線状降水帯の発生をお知らせ



自治体からの避難
情報や周辺状況を
確認し、速やかに
安全確保

時間

風の強さと吹き方

風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およそ の時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常 の速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が 移動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り				
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

・(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

・(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

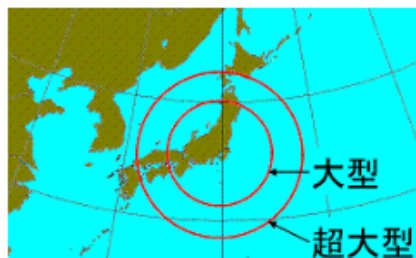
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下のようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

天気予報では、25日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		